

● 2009年9月 山県市議会の動きの報道

2009.9.18 中日

疑問相次ぎ

再審議に

山県市議会は十七日、厚生委員会を開き、来年四月に同市谷合で稼働予定の一般ごみ処理施設「市新クリーンセンター」（仮称）の管理運営費について審議。市が当初示した概算を大きく上回っていることに疑問が相次ぎ、再度委員会を開くことになった。

市は九月議会で、民間委託する管理運営費が二〇一〇年度から十五年間で六十二億八千六百三十五万円に上ることを明らかにした。四年前の市の概算では十年間で二十六億五千万円。約一・五倍に膨れ上がったことについてダイオキシン対策で二十四時間稼働にし、灰溶融炉を導入したことなどが要因だと、今議会ですべて説明していた。

2009.9.25 岐阜

委託費に62億円余

山県市議会の厚生委員会（村瀬伊織委員長）が24日開かれ、本年度一般会計補正予算案の委員会付託分などを審査、採択した。

議論の焦点となっていた「（仮称）市新クリーンセンター」の管理委託費62億8635万円の債務負担行為について、委員会内では「当初の想定より金額が高い」などとして採択に難色を示す意見が出されていたが、この日委員会の出席要請に応じた平野元市長が「契約に向け、市の負担が最大限少なくなるよう努力する」と明言し、議論が収束した。

同センターは、来年4月に稼働予定のごみ処理施設。施設の運転は、市が15年間にわたる建設業者に委託する計画で、管理委託費には人件費、燃料費、設備維持費などが含まれている。

2009.9.26 中日

補正予算案など
10議案を可決

山県市議会が閉会

山県市議会九月定例会は二十五日、本会議を再開。

委員会報告で、一般ごみ処理施設「市新クリーンセンター」（仮称）の債務負担行為について審議した二十四日の厚生委員会について、寺町知正氏が、討論後の採決の途中で市長を質疑に呼ぶのは市議会の会議規則に反している」と指摘した。

このため本会議を休会し、同委員会を再度開いて付託案件をあらためて可決。異例の再可決を受けて本会議を再開、七千八百五十五万二千円の一一般会計補正予算案など十議案を全員一致で可決、閉会した。（久保田麻里衣）

● 現在と将来の比較のデータ

平成20年度クリーンセンター管理費は、次のようになります。

表1 平成20年度クリーンセンター管理費総額表

(単位:千円)

No.	クリーンセンター管理費の経費区分	年間経費	備考
1	需用費	(1) 光熱水費	3,526
		(2) 燃料費	468
		(3) 修繕費	1,373
		(4) その他	263
2	ごみ焼却処理委託料	160,163	岐阜市委託費
3	岐阜市搬送先変更負担金	7,272	岐阜市負担金
4	不燃ごみ、粗大ごみ処理委託費	46,284	イースター(株)
5	役務費	153	
6	委託料	2,168	
7	使用料及び賃借料	230	
8	公課費	131	
9	クリーンセンター職員人件費 (給料、職員手当、労務費、公務災害等)	44,331	職員6人分
合 計		266,862	

表2 15年間運営管理委託事業にのみ見積金額表

(単位:千円)

No.	運営管理委託区分	15年金額	年間金額
1	人件費	2,663,000	177,867
2	設備整備、補修費、点検費等	1,297,700	86,513
3	電気料金	683,330	45,755
4	灯油代	434,300	28,987
5	薬品・油脂類	230,020	15,335
6	上水道料金	20,850	1,390
7	備品・消耗品費	163,700	11,113
8	その他経費	193,000	13,200
9	一般管理費	284,600	18,973
合 計		5,987,000	399,133
消費税込み金額		6,285,350	419,090

↓
債務負担限度額

表3 現在経費と運営委託事業金額の比較表

(単位:千円)

平成22年度以降の運営管理委託事業費見積金額	419,090
平成20年度ごみ処理経費	266,862
差し引き差額	152,228

● 日立造船の出してきた 長期包括的運転契約の 年度ごとの見積書

人件費

	支給給与 ^{※1}	法定福利費 ^{※2}	単価	費用	備考
所長	8,000,000	1,630,000		9,630,000	専門技術者、実務経験者
次長、班長	6,100,000	1,200,000	7,300,000	29,200,000	4名 専門技術者、実務経験者
日勤要員	3,700,000	680,000	4,380,000	26,280,000	6名
事務員	3,200,000	580,000	3,780,000	7,560,000	2名
直勤運転班長・副班長	5,300,000	990,000	6,290,000	50,320,000	8名/4班 専門技術者、実務経験者
直勤運転員	3,600,000	670,000	4,270,000	34,160,000	8名/4班
社宅費				9,312,000	
本社管理費				4,550,000	人事管理、安全管理等
健康診断、厚生補助金				3,888,000	
出張旅費				1,800,000	出張旅費、講習・資格取得費
合計				176,700,000	

※1：役職手当、資格手当、通勤費、単身赴任手当、賞与含む

※2：事業主負担法定福利費（健康保険、介護保険、雇用保険、労災保険、厚生年金等）

● 2007年4月19日の市職員の郡上市視察の復命書

【復命書】

郡上クリーンセンター施設を市民環境部長、環境衛生課長、
クリーンセンター所長ほか、山県市職員2名で視察研修を行
いました。

施設は、平成14年度造成工事、平成15年度より3年間にて建設
建設されたゴミ処理施設は、「流動床式ガス化溶融炉」を採用された。
併設としてリサイクルプラザが建設されています。

- ・ごみ処理能力 75 t / 24 h 日 (37.5 t / 24 h × 2 炉)
- ・リサイクルプラザ 13 t / 5 h 日
- ・クリーンセンター事業費 建設費、造成費、その他 30 億 2 千万円
- ・処理対象物 可燃ごみ、下水道し尿汚泥、併せ産灰として木くず、焼却灰
- ・施設の運転 焼却運転管理を日本ガイシに委託
委託社員 22 名で4班2交代制
年間委託料 ごみ処理運転業務 1 億 1 千 6 百万円
- ・運転委託契約 単年度 随意契約
- ・長期包括的運転契約 行っていない

その他別紙質問事項のとおり研修してきました。

今後において、3年間の担保補償が終わったあと施設の運転、維持管理費
など併せて、3億～5億程度必要となるということでした。

本市において、今年度より建設して、将来 施設の運転、維持管理費に
郡上市のよう経費が必要になるため中長期財政予測立てなければならない
を認識も痛感しました。

命令者印	
課	
員	

復命書の概要

各課（出張前決裁）→ 各課